

NEWS RELEASE

2021年2月9日、クリシー発

仏・ロレアルグループ 2021年業績結果 **歴史的な年：+16.1%の成長率¹** **美容市場成長率の2倍。非常に大幅な増益を達成**

- 売上：322億8,000万ユーロ
 - 同一基準ベース +16.1%（前年同期比¹）
 - CERベース +16.9%
 - 決算報告ベース +15.3%
- 2019年との売上成長比 同一基準ベース+11.3%（前年同期比）
- 記録的な営業利益：61.6億ユーロ、売上高の19.1%
- 1株当たり収益²：8.82ユーロ、+20.9%の増加
- 配当金³：4.80ユーロ、+20%の増配

仏・ロレアルグループの取締役会は、2022年2月9日、ジャン-ポール・アゴンを議長とし、会計監査人の出席のもと開催され、財務諸表の連結を終え、2021年度の決算報告を発表しました。

ロレアルグループのCEO（最高経営責任者）であるニコラ・イエロニムスは、本業績について次のようにコメントしました。

「2021年はロレアルにとって歴史的な1年でした。世界中にいる85,400人のロレアル社員の専門知識、情熱、コミットメントにより、当社グループは世界の美容市場の2倍となる+16.1%¹という記録的な成長を達成することができました。ロレアルはすべての地理的ゾーン、事業本部、カテゴリで市場シェアを拡大しました。2年間で、グループは対前年同期比+11.3%の成長を達成し、ほぼ2019年と同水準に回復した市場をも見事に凌駕しています。2021年は、この歴史的な業績達成のために必要なすべてがそろった年でした。

地理的ゾーン別では、北米が力強い復活を遂げ、北アジアと並び、主要な成長要因となりました。欧州では、地理的ゾーンの再編成が功を奏し、大幅な市場シェアの向上を達成し、2019年の業績水準へ回復しました。SAPMENA-SSA⁴（南アジア太平洋、中東、北アフリカ、サハラ以南のアフリカ地域）とラテンアメリカの新型コロナウイルスの感染拡大状況が極めて不安定ななかでも、ロレアルは俊敏性を発揮し、堅実な業績を収めることができました。

ロレアル リュクス事業本部はフレグランスで顕著な成功を収め、グループ最大の事業本部となりました。一方、数量ベースで最大の事業本部であるコンシューマー プロダクツ事業本部は、メイクアップで顕著な業績を上げ、その地位を強固なものにしました。急成長しているプロフェッショナル プロダクツ事業本部は、広範囲に及ぶ変革を続け、真のオムニチャネル化を実現しました。消費者の健康志向に合致するブランドポートフォリオを有するアクティブコスメティクス事業部は、4年間で2倍という目覚ましい成長を遂げました。

¹ 同一基準ベース：組織構造と為替レートが一定という条件のもと

² 非支配持分控除後の経常外項目を除く当期純利益に基づく希薄化後1株当たり利益

³ 2022年4月21日の年次総会の提案

⁴ SAPMENA-SSA: 南アジア太平洋、中東、北アフリカ、サハラ以南のアフリカ

2021年、ロレアルは再びデジタル分野でのリードを拡大しました。Eコマース⁵は+25.7%⁶増加し、売上高の28.9%を占めました。当社は、新しいデジタルチャネルが提供する機会をつかむことができました。同時に、統合的なオムニチャネル戦略の一環として、店頭でのデジタル化も継続しています。

また、ビューティーテックについての変革も進めています。データや人工知能へ投資をし、戦略的パートナーシップの構築を進めます。肌や髪の老化メカニズムの特徴を明らかにし、その理解を促進することを目的としたVerily社との提携は、その一例です。

ロレアルは、優れたイノベーションと徹底したコスト管理により、ブランドへの広範な投資とその魅力の向上を実現し、同時に過去最高の営業利益、ならびに50ベーシスポイント増という過去最高の営業利益率をも達成し、並外れた成長を遂げています。

また社会的・環境的な達成についても誇りに思っています。企業責任を果たしつつ成長し、すべてのステークホルダーと価値をわかちあいたいという当社の願いを反映するものです。まず、この過去最大という異例の業績を達成してくれた当社の社員たちへ対し、プロフィット・シェアリングを通し還元します。さらに、若者の雇用を促進するために、昨年は、新しいグローバルプログラム「L'Oréal For Youth（ロレアル・フォー・ユース）」の一環として、30歳未満の若者に18,300人以上の雇用機会を提供しました。2022年から2025年之间には、年間25,000人に雇用機会を提供することを目標としています。また、ジェンダー平等を支援する当社の取り組みは、ブルームバーグ男女平等指数によって評価されました。さらに、最大の支社であるロレアルUSAは、ロレアル・フォー・ザ・フューチャーの掲げているグループ目標より4年ほど早く、2021年に全拠点でカーボンニュートラルを達成しました。ロレアルは、気候変動への取り組み、森林保護、水保全における環境リーダーシップが評価され、CDPから6年連続でAAAスコアを獲得している世界で唯一の企業です。

年末には、ネスレが保有する自社株4%のロレアルによる買い戻しという戦略的取引が行われ、当グループの長期的な成功にとって重要なアセットである株主構成を強化することに成功しました。

年初から不安定な状況が続く世界情勢のなか、2022年も市場を上回る業績を上げ、売上・利益ともに再び成長を実現できると確信しています」

2022年4月21日開催予定の定時総会について

年次総会は、2022年4月21日10:00から開催される予定です。株主には、通常通りの通知方法で案内します。総会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が現在も流動的であることに配慮します。

株主は、定期的にウェブサイト上の「年次総会」セクションをご確認ください。loreal-finance.comのウェブサイトでは、年次総会に関する最新情報をご覧ください。

取締役会および委員会の構成

2022年2月9日開催の取締役会において、ジャン-ポール・アゴン氏、パトリス・ケイン氏、ベレン・ガリホ氏の取締役任期を4年とする更新を2022年4月21日の年次株主総会に提案することが決定されました。

年次総会においてアゴン氏の取締役としての在任期間の更新が承認された場合、本総会後に開催される取締役会において、アゴン氏の取締役会会長再任が要請される予定です。

提案された決議を年次総会が承認した場合、取締役会は引き続き16名の取締役で構成されます。すなわち、総会で選任された14名の取締役と従業員を代表する2名の取締役で構成される予定です。

独立性と多様性のバランスに変更はありません。

- 年次総会で選任された14人の取締役のうち、7人すなわち50%が独立取締役です
- 年次総会で選任された取締役14名の構成は、女性7名、男性7名、すなわち男女比率は50%と同等です

⁵ 自社ウェブサイトでの売上高+小売業者のウェブサイト経由の売上に基づく自社ブランドの売上高の見込み（非監査データ）

⁶ 同一基準ベース：組織構造と為替レートが一定という条件のもと

2021年売上

同一基準ベース（組織構造と為替レートが一定という条件のもと）ロレアルグループの売上は、+16.1%

連結対象の変更によるネットインパクトは、+0.8%

為替レートが一定との条件のもとでの売上は、+16.9%

2021年末時点において、為替変動によるマイナス影響は-1.6%

財務報告ベースではロレアルグループの売上は2021年12月31日時点で、322.8億ユーロ、つまり+15.3%の成長

事業本部・地理的ゾーン別売上

	2021年第4四半期			2021年12月31日時点		
	€m	成長率		€m	成長率	
		前年同期比	財務報告ベース		前年同期比	財務報告ベース
事業本部分別						
プロフェッショナルプロダクツ	1,059.6	+15.5%	+18.5%	3,783.9	+24.8%	+22.2%
コンシューマープロダクツ	3,290.5	+6.5%	+10.0%	12,233.5	+5.6%	+4.5%
ロレアルリュクス	3,753.9	+11.4%	+16.5%	12,346.2	+20.9%	+21.3%
アクティブコスメティックス	990.3	+24.0%	+28.4%	3,924.0	+31.8%	+30.3%
グループ総計	9,094.4	+11.2%	+15.4%	32,287.6	+16.1%	+15.3%
地理的ゾーン別						
欧州	2,759.8	+9.5%	+11.5%	10,184.8	+10.1%	+10.7%
北米	2,179.3	+19.6%	+25.1%	8,155.9	+22.2%	+18.1%
北アジア	3,026.6	+7.3%	+12.9%	9,863.3	+17.6%	+18.6%
SAPMENA – SSA ⁷	661.3	+14.9%	+14.2%	2,312.0	+13.9%	+10.0%
ラテンアメリカ	467.4	+8.1%	+16.2%	1,771.5	+20.6%	+20.6%
グループ総計	9,094.4	+11.2%	+15.4%	32,287.6	+16.1%	+15.3%

⁷SAPMENA-SSA: 南アジア太平洋、中東、北アフリカ、サハラ以南のアフリカ

事業本部別サマリー

プロフェッショナル プロダクツ事業本部

プロフェッショナル プロダクツ事業本部は、力強い成長とともに一年を終え、同一基準ベースで **+24.8%**、財務報告ベースでは**+22.2%**

当事業本部は、米国と中国本土を中心に、すべての地理的ゾーンで歴史的な市場シェア拡大を達成し、上昇の勢いを維持しました。オムニチャンネル戦略の効果は、サロンにおける製品販売の回復、米国における SalonCentric の好調、Eコマースの大幅な伸びに表れています。

ヘアケアは、引き続き成長率ナンバーワンのカテゴリです。ケラスターゼは、「Curl Manifesto (日本未発売)」の成功にけん引され、目覚ましい成長を遂げました。ロレアル プロフェッショナルは、破壊的技術である「メタル DX」、そして Redken (日本未展開ブランド) は、「Acidic Bonding Concentrate」の新ラインにより、力強い成長を記録しました。ヘアカラーは、特に Redken の「Shades EQ」とロレアル プロフェッショナルの「Dialight (日本未発売)」の成功により、非常に力強い回復を遂げました。

また業界のリーダーとして、「Hairstylists for the Future (ヘアスタイリスト・フォー・ザ・フューチャー)」を立ち上げ、すべてのパートナー美容師に対し、サステナブルな変革を促しています。

コンシューマー プロダクツ事業本部

コンシューマー プロダクツ事業本部は、第4四半期に同一基準ベース**+5.6%**、財務報告ベース**+4.5%**の成長

当事業本部は2021年にシェアを拡大しました。米国だけでなく、インド、ブラジル、メキシコ、インドネシアといった潜在市場においても力強く成長しました。すべての地理的ゾーン、特に新興市場においては、Eコマースの発展が成長をけん引しました。

メイクアップでは、メイベリン史上最も成功した新製品となった「Sky High Mascara」(日本未発売)、ヘアケアでは、「Dream Lengths Wonder Watery by Elsève (日本未発売)」や中国本土での「L'Oréal Fall Resist (日本未発売)」などのプレミアムイノベーション、スキンケアでは、SAPMENA ゾーンとラテンアメリカゾーンの多くの国で大成功した Garnier (日本未展開ブランド) の「Vitamin C Serum」などにより、すべての主要ブランドがすべてのカテゴリで革新的な製品を展開し成長を遂げました。NYX Professional Makeup (日本未展開ブランド) も、主要な製品発売や、大ヒットNetflixのテレビドラマ シリーズ「ペーパー・ハウス」とのパートナーシップといった新しい試みにより、非常に好調な1年となりました。ロレアルパリは、売上高が60億ユーロを超え、世界第1位のビューティーブランドとしての地位を強化しました。

ロレアル リュクス事業本部

ロレアル リュクス事業本部 は、ラグジュアリー化粧品グローバル市場がコロナ渦前の水準に近いところまで回復したなか、力強く成長。同一基準ベースで **+20.9%**、財務報告ベースで **+ 21.3%**

同事業本部は、カテゴリ、地域、販売チャネル別にバランスのとれた目覚ましい業績を達成し、グループ最大の事業本部となりました。ロレアル リュクス事業本部は、オンラインとオフラインの売上をバランスよく加速させ、販売チャネル間の相補性を最大限に活かしました。

ロレアル リュクス事業本部は、3つのカテゴリで市場シェアを拡大しました。スキンケアでは、最高級のプレミアムブランドであるランコム アブソリュ、ヘレナルビンスタイン、そしてキールズの「キールズ DS RTN リニューイング セラム」などのアンチエイジング製品が非常に好調な結果を残しました。フレグランス部門は、イヴ・サンローランの「リブレ」などの定番商品と、Mugler (日本未展開ブランド) の「Alien Goddess」やブラダの「ルナ・ロッサ オーシャン」といった期待の新製品により、首位の座を堅持しました。メイクアップでは、ランコムとシュウウエムラが好調に推移しました。

当事業本部は全ての地理的ゾーンでのポジションを強化し、北アジアでは市場シェアを大幅に拡大し、欧州では優れた業績を記録しました。北米では販売チャネルの再編により、売上が再び加速しています。

また2021年末には、Youth to the People (ユース・トゥ・ザ・ピープル) の買収を完了しました。

アクティブ コスメティックス事業部

アクティブ コスメティックス事業部は、異例の成長とともに一年を終え、同一基準ベースで**+31.8%**、財務報告ベースで**+30.3%**

同事業本部は、消費者の健康志向の高まりとともに、2021年に極めて活況となったDermocosmetics（臨床皮膚医学の知見に基づいて作られたスキンケア製品）市場を大幅に上回る業績を収めました。医療従事者との強固な関係をより一層強化し、皮膚科医推奨のスキンケア製品カテゴリにおけるリーダーシップを確かなものにした。アクティブ コスメティックス事業部は、北米と北アジアで例外的な業績を達成し、全地理的ゾーンにおいて力強い成長を遂げました。オフラインの売上は2桁の大幅増に転じ、オンライン売上は前例のないほど好調で10億ユーロを超えました。

当事業部の主要ブランドは力強い成長を遂げました。ラ ロッシュ ポゼは、美容液「エファクラ」や湿疹治療に革命をもたらした「Lipikar EczemaMED」（日本未発売）などの最先端のイノベーションにより、2020年比で2倍以上の成長率を達成しました。Vichy（日本未展開ブランド）は、欧州において更年期女性向けスキンケアを中心にアンチエイジング分野でのリーダーシップを強化し、中南米や北米でも成長を加速しました。Skin Ceuticals（日本未展開ブランド）は、「Silymarin CF」の成功により抗酸化に関する専門性が確認され、成長が続きました。CeraVe（日本未展開ブランド）は、米国およびその他の国々でも、2年連続で目覚ましい成長を遂げました。

地理的ゾーン別サマリー

欧州

同一基準ベース**+10.1%**、財務報告ベース**+10.7%**で一年を終え、同一基準ベースで**2019年の水準までほぼ回復**

2021年の美容市場は欧州全域で回復傾向でしたが、2019年の水準を下回ったままでした。ロレアルは、オンラインでの売上の新たな増加とデジタル領域におけるリーダーシップにより、欧州における美容市場を大きく上回る業績を収めました。特にイギリス、ドイツ、フランス、ロシア、スカンジナビア諸国など、大半の国でのそのポジションを強化しました。また、スキンケア、ヘアケア、メイクアップ、フレグランスのすべての戦略的カテゴリにおいて市場シェアを拡大しました。

アクティブ コスメティックス事業部は、CeraVeとラ ロッシュ ポゼの継続的な成功により、特に力強く成長しました。年初には数カ国で美容院が一時閉鎖されたにも関わらず、プロフェッショナル プロダクツ事業本部は、施肥インラインアップ全体への強い関心や、ケラスターゼならびにロレアル プロフェッショナルのイノベーションの成功により、2019年より大幅に業績水準を取り戻しました。ロレアル リュクス事業本部は、Muglerの「Alien Goddess」やプラダの「ルナ・ロッサ オーシャン」が素晴らしいスタートを切り、またランコム「ラヴィエベル」やイヴ・サンローランの「リブレ」といった主力製品により、フレグランスカテゴリにおけるリーダーシップポジションを確かなものにした。一方、コンシューマー プロダクツ事業本部は、メイクアップカテゴリで引き続きシェアを拡大しました。

北米

同一基準ベース**+22.2%**、財務報告ベースで**+18.1%**

パンデミックとサプライチェーン寸断による影響を受けた年でしたが、北米ゾーンはすべての事業本部で市場シェアを拡大。オンラインとオフラインの両方で成長を続け、実店舗での営業も再開しました。またパワフルな新製品の発売プランにより、消費者の支持を集め、ブランドのファンを確保することに貢献しました。

メイベリンの「Sky High Mascara」や、ロレアルパリの「Infallible powder」（日本未発売）などの画期的なイノベーションの成功により、コンシューマー プロダクツ事業本部はメイクアップカテゴリで2年ぶりの成長を記録しました。ロレアル リュクス事業本部は、販売網の再編によりリソースを確保し、ラルフローレンの「RALPH'S CLUB」やプラダの「ルナ・ロッサ オーシャン」など、フレグランスカテゴリで大きな成功を収め、成長を加速させることができました。プロフェッショナル プロダクツ事業本部は、サロン専売品のオンライン卸売サイト「SalonCentric」がけん引し、大幅な成長を遂げました。Redkenは、「Acidic Bonding Concentrate」の発売により、頭角を見せました。アクティブ コスメティックス事業部では、CeraVe が最も推奨されるスキンケアブランドとなり、目覚ましい成長を遂げました。

北アジア

同一基準ベースで +17.6%、財務報告ベースで +18.6%

新型コロナウイルス感染症拡大により、実店舗への来客数が減少したにも関わらず、ロレアルは全事本業部にわたってその地位を著しく強化し、良い一年となりました。

北アジアゾーンでは、プレミアムスキンケアのランコム アブソリュとヘレナ ルビンスタインの成功、イヴ・サンローランとシュウ ウエムラの好調により、ロレアル リュクス事業本部が引き続き市場シェアを拡大しました。プロフェッショナル プロダクツ事業本部は、ケラスターゼがその成長をけん引しました。アクティブ コスメティクス事業部は、ラ ロッシュ ポゼと Skin Ceuticals がけん引し、その成長を継続しました。ロレアル パリは、プレミアムヘアケア製品の成長により、コンシューマー プロダクツ事業本部の業績を押し上げました。

中国本土では、2021年にロレアルは2桁台という美容市場の2倍となる力強い成長を遂げました。2020年の非常に高い水準と比較すると減速したものの、第4四半期には、美容市場は2019年よりもはるかに活況を維持しました。第四半期、ロレアルチャイナは2019年と比較して、同一基準ベースにおいて50%以上の成長を達成しました。Tmallで開催されたダブルイレブン（ECショッピングイベント）では、ロレアルはあらゆる記録を更新し、さらなる市場シェアの拡大を記録し、中国の消費者に対するロレアルブランドの魅力を確かなものにしました。この象徴的な消費促進イベントにおいて、ロレアル パリとランコムがそれぞれビューティー市場の1位と3位になるほか、イヴ・サンローランはメイクアップカテゴリで、ケラスターゼはヘアケアカテゴリで1位となりました。ByteDance社（TikTok）によるベスト・イノベーション・アワードの受賞は、ロレアルチャイナのデジタル施策とブランド構築における優位性を証明するものです。

トラベルリテールも、グループブランドの魅力を維持しつつ、海南での好調なビジネスのおかげで、引き続き順調に成長しました。

SAPMENA – SSA⁸

同一基準ベース +13.9%、財務報告ベースでは +10.0%

SAPMENA では、パンデミックの再拡大による不安定な状況のなか、Eコマースが加速しました。東南アジアでは、ベトナムがオンラインのブームに後押しされ、顕著な業績を上げ、第4四半期には、ロレアルはコロナ渦以前の水準に戻りました。太平洋諸国は、需要喚起を促進するプランにより回復しました。インドとパキстанは引き続き堅調に推移しました。湾岸地域は、ドバイで開催された万国博覧会の開催により、成長の勢いを維持しました。コンシューマー プロダクツ事業本部は、Garnierのヘアケアラインやメイベリン ニューヨークの緩やかな回復により、好調な業績を達成しました。ロレアル リュクス事業本部は、イヴ・サンローランやアルマーニなどのフレグランスが好調でした。プロフェッショナル プロダクツ事業本部の成長は、ケラスターゼがけん引しました。アクティブ コスメティクス事業部は、ラ ロッシュ ポゼと CeraVe がけん引し、スキンケアカテゴリにおいて引き続き力強い成長を遂げました。

SSAゾーンは年間を通じて力強い成長を遂げました。アクティブ コスメティクス事業本部は、ラ ロッシュ ポゼの前例のない勢いにより、目覚ましい成果をあげました。ロレアル リュクス事業本部は、南アフリカでフレグランスカテゴリの市場シェアを大幅に拡大させました。コンシューマー プロダクツ事業本部は、Dark & Lovely（日本未展開ブランド）、Nice & Lovely（日本未展開ブランド）、メイベリン ニューヨーク が非常に好調な業績を達成しました。

⁸ SAPMENA-SSA: 南アジア太平洋、中東、北アフリカ、サハラ以南のアフリカ

ラテンアメリカ

同一基準ベース+20.6%、財務報告ベース+20.6%の力強い成長

上半期の一時的な店舗の閉鎖がありましたが、下半期には流通チャネルはすべてオープンしました。ショッピングモールやプロフェッショナルサロンは年間を通じて来訪者数が減少しましたが、ビューティー市場は力強い成長を遂げました。

このような背景のもと、ロREALは、メキシコ、ブラジル、チリで顕著な業績を上げ、市場シェアを大幅に拡大しました。E コマースとオフラインの売上が成長をけん引しました。当社グループのブランドは、購買行動を再開した消費者を歓迎しました。消費者ターゲットに合わせた施策に加えて、**Buen Fin** やブラックフライデーなどの主要なオンラインイベントを活用して、デジタルエンゲージメントとオンライン活性化を継続的に実施しました。主要カテゴリでは、特にヘアケア、スキンケア、フレグランスにおいて、優れたイノベーションの導入や、象徴的なブランド、製品の成功により、力強い成長を遂げました。ロREALパリは、新製品「**Elsève Hydra Hialurónico**」(日本未発売)の成功と「**Revitalift**」(日本未発売)の販売促進施策により、ブラジル、メキシコ、チリで市場シェアを拡大しました。ラ ロッシュ ポゼ は市場シェアを大幅に拡大し、**CeraVe** は急成長を続け、本地理的ゾーンの売上を2倍以上に伸ばしました。

2021年10月1日から12月31日までの重要な出来事と決算後の出来事

- 10月26日、French Ministry for Gender Equality, Diversity and Equal Opportunities（フランス男女共同参画・多様性・機会均等省）が主催する第8回 Feminisation of the Governing Bodies of SBF120 companies(SBF120社における経営組織の女性化)において、ロレアルは「Parité du Top 100」（平等トップ100社）特別賞を受賞しました。
- また10月26日、ロレアルは、透明性へのコミットメントを強化し、消費者がより多くの情報に基づいて購買行動を決定できるようにするため、過去最大の香料開示モデルを立ち上げることを発表しました。ロレアルは、香料製造の国際的リーダーである フィルメニヒ、ジボダン、IFF、Mane の4社と協力し、この新しいツールを開発しました。
- 11月3日、ロレアルはプリンス・オブ・ウェールズから Terra Carta 2021 勲章を授与されました。本勲章は、イノベーションを推進し、真に持続可能な市場の創造に向けたコミットメントと推進力を示すグローバル企業を評価するものです。
- 11月16日、ロレアル・ウォーター・セーバーは、TIME誌が選ぶ2021年のトップイノベーションに選ばれました。環境イノベーション企業Gjosaと共同で開発されたロレアル・ウォーター・セーバーは、水の消費量を最大65%削減できる他に類を見ないシャワーヘッドです。10万軒の美容院に本技術を搭載することで、最大68億リットルの水を節約できる可能性があります。
- 12月7日、ロレアルは世界的な環境NPOであるCDPから、企業の持続可能性におけるリーダーシップにおいて高い評価を得ました。ロレアルは、CDPの3つの重点分野である気候変動、水保全、森林保護において、6年連続でAAAスコアを獲得している世界で唯一の企業です。
- 12月13日、ロレアルはS&Pからその卓越したサステナビリティ・パフォーマンスを認められ、100点満点中85点という世界最高レベルの環境、社会、ガバナンス（ESG）評価を獲得しました。
- ロレアルは、12月29日、カリフォルニアに拠点を置き、ヴィーガンスーパーフードエキスを配合した科学的根拠に基づく革新的な処方で見られる高機能スキンケア製品を開発する米国企業Youth to the People（ユーストゥザピープル）の買収を完了しました。
- 2022年1月3日、CES 2022で、ロレアルはヘアカラーカテゴリ全体を刷新する最新のビューティテックのイノベーションを発表しました。カラーソニックとカラーライトは、消費者の自宅での体験とプロの美容師のサロンでの体験を一変させる画期的なユーザーデザインです。
- 2022年1月20日、ロレアルと、アルファベット社傘下のプレジジョン・ヘルス企業であるVerily社は、スキンヘルスを推進するための独占ビューティパートナーシップを発表しました。美容業界初のこのパートナーシップは、皮膚と髪の高齢化メカニズムの理解と特徴づけを目的とした2つのプログラムを含む予定です。また、ロレアルのプレジジョン・ビューティテック戦略や製品開発にも活用される予定です。
- 2022年1月26日、ロレアルはブルームバーグ男女平等指数 2022により、5年連続で包摂的で平等な職場環境づくりに成功したことが認められました。本指標は、女性のリーダーシップと人材登用、男女賃金の平等、包摂的な文化、セクハラ防止方針、女性を支持するブランドという5つの柱で男女平等を測定しています。
- 2022年2月9日、ロレアルの取締役会は、2021年12月7日の取締役会の決定に従い、ネスレから買い戻した22,260,000株のロレアル株式を2022年2月10日付で消却しました。2022年2月10日現在、ロレアルの資本は、同等の議決権を持つ535,412,372株で構成されることとなります。

2021年業績

監査済財務諸表は、認証取得中です。

売上に対する営業利益率：19.1%

連結損益計算書：売上から営業利益まで

	2020		2021	
	€m	% 売上	€m	% 売上
売上	27,992.1	100.0%	32,287.6	100.0%
売上原価	-7,532.3	26.9%	-8,433.3	26.1%
売上総利益	20,459.8	73.1%	23,854.3	73.9%
研究開発費	-964.4	3.4%	-1,028.7	3.2%
広告宣伝費および販売促進費	-8,647.9	30.9%	-10,591.0	32.8%
販売費および一般管理費	-5,638.5	20.1%	-6,074.2	18.8%
営業利益	5,209.0	18.6%	6,160.3	19.1%

売上総利益は238億5,400万ユーロで、売上高の73.9%を占め、2020年の73.1%と比較して80bp（0.8ポイント）上昇しました

研究開発投資は、売上高の3.2%となり、10億ユーロを超えました

広告販促費は190bp（1.9ポイント）増え、売上高の32.8%です

一般販売管理費は130bp（1.3ポイント）減少し、売上高の18.8%です

全体では、営業利益は+18.3%の61億6,000万ユーロとなりました。50bp(0.5ポイント)増加し、売上高の19.1%を占めています

事業本部別 営業利益

	2020		2021	
	€m	% 売上	€m	% 売上
事業本部別				
プロフェッショナル プロダクツ	581.7	18.8%	806.9	21.3%
コンシューマー プロダクツ	2,388.1	20.4%	2,466.0	20.2%
ロレアル リュクス	2,275.9	22.4%	2,816.3	22.8%
アクティブ コスメティックス	766.0	25.4%	990.5	25.2%
事業本部総計	6,011.6	21.5%	7,079.7	21.9%
非割当 ⁹	-802.6	-2.9%	-919.4	-2.8%
グループ	5,209.0	18.6%	6,160.3	19.1%

プロフェッショナル プロダクツ事業本部の利益率は2021年に21.3%となり、250bp(2.5ポイント)改善されました

コンシューマー プロダクツ事業本部の利益率は20.2%となり、20bp (0.2ポイント)減少しました

ロレアル リュクス事業本部の利益率は40 bp (0.4ポイント)改善し、22.8%となりました

アクティブ コスメティックス事業部の収益性は20bp（0.2ポイント）低下し、25.2%となりました

非配分費用は9億1940万ユーロとなりました

⁹ 配賦不能費用=中央グループ費用、基礎研究費用、株式無償交付費用、雑費

純利益

連結損益計算書：経常外項目を除く純利益から純利益へ

€m	2020	2021	成長率
営業利益	5,209.0	6,160.3	+18.3%
サノフィの配当金を除く金融収益・費用	-95.9	-59.6	
サノフィの配当金	372.4	378.3	
非経常項目を除く税引前利益	5,485.5	6,478.9	+18.1%
法人税等（非経常項目除く）	-1,383.1	-1,535.6	
持分法適用会社の非経常的項目を除いた純利益	+0.9	+0.6	
非支配持分	-4.2	-5.5	
非支配持分控除後の当期純利益	4,099.0	4,938.5	+20.5%
EPS¹⁰ (€)	7.30	8.82	+20.9%
非支配持分控除後の純利益	3,563.4	4,597.1	+29.0%
非支配持分控除後の希薄化後EPS(ユーロ)	6.34	8.21	
希薄化後平均株式数	561,635,963	559,791,545	

純金融費用は5,900万ユーロとなりました

サノフィの配当金は3億7,800万ユーロでした

非経常項目を除いた法人税等は15億3500万ユーロとなり、税率は23.7%となりました

非支配持分控除後の純利益は49億38百万ユーロとなりました

一株当たり利益¹⁰は8.82ユーロとなり、20.9%の増加となりました

非支配持分控除後の経常外項目は税引後3億4140万ユーロとなりました

非支配持分控除後の純利益は29.0%増の45億9,700万ユーロとなりました

キャッシュフロー計算書、貸借対照表、キャッシュポジション

グロスキャッシュフロー（GCF）は+16%の66億4,000万ユーロとなりました

必要運転資本は8,800万ユーロ減少しました。

投資額は10億7,500万ユーロで、売上の3.3%を占めました

純キャッシュフローは+3.1%の56億5,300万ユーロとなりました。

バランスシートは引き続き堅固で、株主資本は236億ユーロとなりました。2021年12月7日、ロリアルは、ネスレから2226万株の自社株を買い戻しました。2021年12月末現在、グループの純負債は、ファイナンス・リース負債の16億7000万ユーロを含め、35億8600万ユーロに達しています

¹⁰ 希薄化後1株当たり利益は、非経常項目を除く、非支配持分控除後の純利益に基づく

¹¹ 非経常項目には、資産の減損、非継続事業からの純利益、構造改革費用、非経常項目の税効果などが含まれます

¹² ネットキャッシュフロー＝グロスキャッシュフロー＋運転資本の増減-資本的支出

2022年4月21日開催の年次総会での配当案について

取締役会は、2022年4月21日の株主総会に、2021年の配当と比較して+20.0%となる1株当たり4.80ユーロの配当を提案することを決定しました。配当金は2022年4月29日に支払われる予定です（配当落ち日はパリ時間4月27日午前0時00分）

株式資本

2021年12月31日現在、当社の資本は557,672,360株で形成されています。2022年2月10日現在、資本金は535,412,372株となり、1株につき1つの議決権が与えられます。

2021年12月時点最新

ロレアルについて <https://www.loreal.com/en/>

ロレアルは、100年以上にわたって美に専念してきました。35^年の多様で補完的なブランドからなる独自の国際的なポートフォリオにより、グループは2020年に279億9000万ユーロの売上高を達成し、世界中で85,400人の従業員を雇用しています。世界有数のビューティーカンパニーであるロレアルは、マス市場、百貨店、調剤薬局・ドラッグストア、ヘアサロン、トラベルリテール、ブランドリテール、Eコマースなど、あらゆる流通ネットワークに展開しています。研究とイノベーション、そして4,000人の研究専任チームは、ロレアルの戦略の中核であり、世界中の美への熱望を叶えるために活動しています。ロレアルは、2030年に向けてグループ全体で意欲的な持続可能な開発目標を掲げ、より包括的でサステナブルな社会に向けてエコシステムを強化することを目指しています。

日本ロレアルについて <https://www.loreal.com/ja-jp/japan/>

ロレアルは1963年から日本で事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2020年末時点での社員数は、2,491人、2021年12月現在の取り扱いブランドは18です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。1983年に日本に研究開発拠点を置き、現在、日本ロレアルリサーチ&イノベーションセンター（川崎市・溝の口）として、日本をはじめ、アジアの研究開発の中心的な役割を担っています。200名以上の研究者を有し、うち女性研究者は56%を占めています。

^a L'ORÉAL Annual Report 2020 に基づく

別添資料

別添資料1：ロレアルグループ売上 2020年/2021年(€ million)

	2020	2021		
	€m	€m	Like-for-like evolution	Reported evolution
First quarter	7,225.2	7,614.5	+10.2%	+5.4%
Second quarter	5,851.3	7,582.1	+33.5%	+29.6%
First half total	13,076.5	15,196.6	+20.7%	+16.2%
Third quarter	7,036.8	7,996.6	+13.1%	+13.6%
Nine months total	20,113.3	23,193.1	+18.0%	+15.3%
Fourth quarter	7,878.8	9,094.4	+11.2%	+15.4%
Full year total	27,992.1	32,287.6	+16.1%	+15.3%

別添資料2：連結損益計算書の比較

€ (m)	2021	2020	2019
Net sales	32,287.6	27,992.1	29,873.6
Cost of sales	-8,433.3	-7,532.3	-8,064.7
Gross profit	23,854.3	20,459.8	21,808.9
Research & Innovation expenses	-1,028.7	-964.4	-985.3
Advertising and promotion expenses	-10,591.0	-8,647.9	-9,207.8
Selling, general and administrative expenses	-6,074.2	-5,638.5	-6,068.3
Operating profit	6,160.3	5,209.0	5,547.5
Other income and expenses	-432.0	-709.0	-436.5
Operational profit	5,728.3	4,500.0	5,111.0
Finance costs on gross debt	-38.0	-79.2	-75.4
Finance income on cash and cash equivalents	18.5	19.8	28.7
Finance costs, net	-19.4	-59.4	-46.7
Other financial income and expenses	-40.2	-36.5	-16.0
Sanofi dividends	378.3	372.4	363.0
Profit before tax and associates	6,046.9	4,776.5	5,411.4
Income tax	-1,445.4	-1,209.8	-1,657.2
Share of profit in associates	0.6	0.9	1.0
Net profit	4,602.2	3,567.6	3,755.2
Attributable to:			
• owners of the company	4,597.1	3,563.4	3,750.0
• non-controlling interests	5.1	4.2	5.2
Earnings per share attributable to owners of the company (euros)	8.24	6.37	6.70
Diluted earnings per share attributable to owners of the company (euros)	8.21	6.34	6.66
Earnings per share attributable to owners of the company, excluding non-recurring items (euros)	8.86	7.33	7.78
Diluted earnings per share attributable to owners of the company, excluding non-recurring items (euros)	8.82	7.30	7.74

別添資料3： 連結包括利益計算書

€ millions	2021	2020	2019
Consolidated net profit for the period	4,602.2	3,567.6	3,755.2
Cash flow hedges	-203.7	129.1	2.9
Cumulative translation adjustments	610.5	-790.2	188.2
Income tax on items that may be reclassified to profit or loss ⁽¹⁾	41.5	-23.3	-1.9
Items that may be reclassified to profit or loss	448.3	-684.4	189.2
Financial assets at fair value through other comprehensive income	1,192.2	-1,269.1	1,650.6
Actuarial gains and losses	585.5	-225.6	-327.7
Income tax on items that may not be reclassified to profit or loss ⁽¹⁾	-181.7	97.8	29.7
Items that may not be reclassified to profit or loss	1,596.0	-1,396.9	1,352.6
Other comprehensive income	2,044.3	-2,081.3	1,541.8
CONSOLIDATED COMPREHENSIVE INCOME	6,646.5	1,486.3	5,297.0
Attributable to:			
• owners of the company	6,641.4	1,482.1	5,291.9
• non-controlling interests	5.1	4.2	5.1

⁽¹⁾ The tax effect is as follows:

€ millions	2021	2020	2019
Cash flow hedges	41.5	-23.3	-1.9
Items that may be reclassified to profit or loss	41.5	-23.3	-1.9
Financial assets at fair value through other comprehensive income	-37.3	40.4	-51.7
Actuarial gains and losses	-144.4	57.4	81.4
Items that may not be reclassified to profit or loss	-181.7	97.8	29.7
TOTAL	-140.2	74.5	27.8

別添資料4: 連結バランスシートの比較

ASSETS

€ millions	31.12.2021	31.12.2020	31.12.2019
Non-current assets	30,937.6	29,046.8	29,893.3
Goodwill	11,074.5	10,514.2	9,585.6
Other intangible assets	3,462.8	3,356.3	3,163.8
Right-of-use assets	1,507.6	1,525.3	1,892.3
Property, plant and equipment	3,266.2	3,225.2	3,644.3
Non-current financial assets	10,920.2	9,604.8	10,819.1
Investments accounted for under the equity method	9.9	11.1	10.9
Deferred tax assets	696.5	809.9	777.3
Current assets	12,075.8	14,560.1	13,916.5
Inventories	3,166.9	2,675.8	2,920.8
Trade accounts receivable	4,021.0	3,511.3	4,086.7
Other current assets	2,037.9	1,732.7	1,474.9
Current tax assets	136.2	234.4	148.1
Cash and cash equivalents	2,713.8	6,405.9	5,286.0
TOTAL	43,013.4	43,606.9	43,809.8

EQUITY & LIABILITIES

€ millions	31.12.2021	31.12.2020	31.12.2019
Equity	23,592.6	28,998.8	29,426.0
Share capital	111.5	112.0	111.6
Additional paid-in capital	3,265.6	3,259.8	3,130.2
Other reserves	19,092.2	18,642.5	16,930.9
Other comprehensive income	5,738.6	4,304.5	5,595.8
Cumulative translation adjustments	-279.1	-889.2	-99.2
Treasury shares	-8,940.2	—	—
Net profit attributable to owners of the company	4,597.1	3,563.4	3,750.0
Equity attributable to owners of the company	23,585.7	28,993.0	29,419.3
Non-controlling interests	6.9	5.8	6.7
Non-current liabilities	2,837.6	3,478.0	3,515.3
Provisions for employee retirement obligations and related benefits	360.6	1,013.5	772.9
Provisions for liabilities and charges	63.8	56.8	56.9
Non-current tax liabilities	344.8	397.9	310.2
Deferred tax liabilities	810.3	706.6	737.7
Non-current borrowings and debt	10.7	8.5	9.6
Non-current lease debt	1,247.5	1,294.7	1,628.0
Current liabilities	16,583.2	11,130.1	10,868.5
Trade accounts payable	6,068.1	4,764.5	4,658.4
Provisions for liabilities and charges	1,223.3	1,224.7	1,117.8
Other current liabilities	3,980.8	3,682.5	3,508.5
Income tax	268.9	215.1	334.8
Current borrowings and debt	4,619.4	856.4	841.2
Current lease debt	422.8	386.9	407.9
TOTAL	43,013.4	43,606.9	43,809.8

別添資料5: 連結持分変動計算書

€ millions	Common shares outstanding	Capital	Additional paid-in capital	Retained earnings and net profit	Other comprehensive income	Treasury shares	Cumulative translation adjustments	Equity attributable to owners of the company	Non- controlling interests	Total equity
At 31.12.2018	559,625,527	112.1	3,070.3	19,847.8	4,242.1	-56.5	-287.4	26,928.4	5.2	26,933.6
Changes in accounting policy at 01.01.2019				-81.5				-81.5	—	-81.5
At 01.01.2019 ⁽¹⁾	559,625,527	112.1	3,070.3	19,766.3	4,242.1	-56.5	-287.4	26,847.0	5.2	26,852.2
Consolidated net profit for the period				3,750.0				3,750.0	5.2	3,755.2
Cash flow hedges					1.1			1.1	-0.1	1.0
Cumulative translation adjustments							174.1	174.1		174.1
Hyperinflation							14.1	14.1		14.1
Other comprehensive income that may be reclassified to profit and loss					1.1		188.2	189.3	-0.1	189.2
Financial assets at fair value through other comprehensive income					1,598.9			1,598.9		1,598.9
Actuarial gains and losses					-246.3			-246.3		-246.3
Other comprehensive income that may not be reclassified to profit and loss					1,352.6			1,352.6		1,352.6
Consolidated comprehensive income				3,750.0	1,353.7		188.2	5,291.9	5.1	5,297.0
Capital increase	1,491,678	0.3	59.9	-0.1				60.0		60.0
Cancellation of Treasury shares		-0.8		-803.0		803.8		—		—
Dividends paid (not paid on Treasury shares)				-2,176.7				-2,176.7	-3.6	-2,180.3
Share-based payment				144.4				144.4		144.4
Net changes in Treasury shares	-3,000,000					-747.3		-747.3		-747.3
Changes in the scope of consolidation								—		—
Other movements				-0.1				-0.1		-0.1
At 31.12.2019	558,117,205	111.6	3,130.2	20,681.0	5,595.8	—	-99.2	29,419.3	6.7	29,426.0
Consolidated net profit for the period				3,563.4				3,563.4	4.2	3,567.6
Cash flow hedges					105.6			105.6	0.2	105.8
Cumulative translation adjustments							-801.8	-801.8	-0.3	-802.1
Hyperinflation							11.9	11.9	—	11.9
Other comprehensive income that may be reclassified to profit and loss					105.6		-789.9	-684.3	-0.1	-684.4
Financial assets at fair value through other comprehensive income					-1,228.8			-1,228.8		-1,228.8
Actuarial gains and losses					-168.1			-168.1		-168.1
Other comprehensive income that may not be reclassified to profit and loss					-1,396.9		—	-1,396.9	—	-1,396.9
Consolidated comprehensive income				3,563.4	-1,291.3		-789.9	1,482.1	4.2	1,486.3
Capital increase	1,754,375	0.4	129.6	-0.2				129.8		129.8
Cancellation of Treasury shares								—		—
Dividends paid (not paid on Treasury shares)				-2,172.6				-2,172.6	-4.9	-2,177.5
Share-based payment				129.7				129.7		129.7
Net changes in Treasury shares								—		—
Changes in the scope of consolidation								—		—
Other movements				4.8				4.8	-0.1	4.7
At 31.12.2020	559,871,580	112.0	3,259.8	22,206.0	4,304.5	—	-889.1	28,993.0	5.8	28,998.8

⁽¹⁾ After taking account of the change in accounting policy pertaining to IFRS 15 "Revenue from Contracts with Customers".

€ millions	Common shares outstanding	Capital	Additional paid-in capital	Retained earnings and net profit ⁽²⁾	Other comprehensive income	Treasury shares	Cumulative translation adjustments	Equity attributable to owners of the company	Non- controlling interests	Total equity
At 31.12.2020	559,871,580	112.0	3,259.8	22,206.0	4,304.5	—	-889.1	28,993.0	5.8	28,998.8
Consolidated net profit for the period				4,597.1				4,597.1	5.1	4,602.2
Cash flow hedges					-161.9			-161.9	-0.3	-162.2
Cumulative translation adjustments							582.4	582.4	0.3	582.7
Hyperinflation							27.8	27.8		27.8
Other comprehensive income that may be reclassified to profit and loss					-161.9		610.2	448.3	—	448.3
Financial assets at fair value through other comprehensive income					1,154.9		—	1,154.9		1,154.9
Actuarial gains and losses					441.1		—	441.1		441.1
Other comprehensive income that may not be reclassified to profit and loss					1,596.0		—	1,596.0	—	1,596.0
Consolidated comprehensive income				4,597.1	1,434.1	—	610.2	6,641.4	5.1	6,646.5
Capital increase	800,780		5.8					5.8		5.8
Cancellation of Treasury shares		-0.5		-1,104.3		1,104.8		—		—
Dividends paid (not paid on Treasury shares)				-2,264.4				-2,264.4	-4.7	-2,269.1
Share-based payment				155.2				155.2		155.2
Net changes in Treasury shares	-25,260,000					-10,045.0		-10,045.0		-10,045.0
Changes in the scope of consolidation				—				—		—
Other movements ⁽²⁾				99.8	—			99.8	0.6	100.4
At 31.12.2021	535,412,360	111.5	3,265.6	23,689.3	5,738.6	-8,940.2	-279.1	23,585.7	6.9	23,592.6

⁽²⁾ Of which €102.2 million pertaining to the IFRIC 2021 interpretation on IAS19 "Employee Benefits" on Attributing Benefit to Periods of Service.

€ millions 百万	Common shares Outstanding 発行済の 普通株 式	Capital 資本金	Additional paid-in Capita 資本剰 余金	Retained earnings and net Profit 利益 剰 余 金 お よ び 純利益	Other comprehensive Income その他の 包括利益	Treasury shares 自己株式	Cumulative translation Adjustments 累積為替換 算調整勘定	Equity attributable to owners of the company 親会社の株主に 帰属する持分	Non- controlling Interests 非支配持分	Total equity 資本 合計
At 31.12.2020	559,871,580	112.0	3,259.8	22,206.0	4,304.5	—	-889.1	28,993.0	5.8	28,998.8
2020年12月31日時点										
Consolidated net profit for the period				4,597.1				4,597.1	5.1	4,602.2
連結当期純利益										
Cash flow hedges					-161.9			-161.9	-0.3	-162.2
キャッシュフローヘッジ										
Cumulative translation adjustments							582.4	582.4	0.3	582.7
累積為替換算調整勘定										
Hyperinflation							27.8	27.8		27.8
ハイパーインフレ										
Other comprehensive income that may be reclassified to profit and loss					-161.9		610.2	448.3	—	448.3
損益に再分類される可能性のあるその他の包括 利益										
Financial assets at fair value through other comprehensive income					1,154.9		—	1,154.9		1,154.9
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産										
Actuarial gains and losses					441.1		—	441.1		441.1
数理計算上の利益および損失										
Other comprehensive income that may not be reclassified to profit and loss					1,596.0		—	1,596.0	—	1,596.0
損益に再分類される可能性のあるその他の包括 利益										
Consolidated comprehensive income				4,597.1	1,434.1	—	610.2	6,641.4	5.1	6,646.5
連結包括利益										
Capital increase 増資	800,780		5.8					5.8		5.8
Cancellation of Treasury shares		-0.5		-1,104.3		1,104.8		—		—
自己株式の消却										
Dividends paid (not paid on Treasury shares)				-2,264.4				-2,264.4	-4.7	-2,269.1
配当金支払額 (自己株式を除く)										
Share-based payment				155.2				155.2		155.2
株式に基づく報酬										
Net changes in Treasury shares	-25,260,000					-10,045.0		-10,045.0		-10,045.0
自己株式の純増減額										
Changes in the scope of consolidation				—				—		—
連結範囲の変更										
Other movementsその他の動き ⁽²⁾				99.8	—			99.8	0.6	100.4
At 31.12.2021	535,412,360	111.5	3,265.6	23,689.3	5,738.6	-8,940.2	-279.1	23,585.7	6.9	23,592.6
2021年12月31日時点										

⁽²⁾ Of which €102.2 million pertaining to the IFRIC 2021 interpretation on IAS19 "Employee Benefits" on Attributing Benefit to Periods of Service.

うち、IAS第19号「従業員給付」についてのIFRIC第2021号の解釈指針（給付の役務提供期間への帰属）に係るものは1億220万ユーロとなりました

別添資料6: 連結キャッシュフロー計算書の比較

€ millions	2021	2020	2019
Cash flows from operating activities			
Net profit attributable to owners of the company	4,597.1	3,563.4	3,750.0
Non-controlling interests	5.1	4.2	5.2
Elimination of expenses and income with no impact on cash flows:			
• depreciation, amortisation, provisions and non-current tax liabilities	1,781.0	2,028.1	1,958.3
• changes in deferred taxes	83.6	-10.1	-42.5
• share-based payment (including free shares)	155.2	129.7	144.4
• capital gains and losses on disposals of assets	0.5	3.6	-14.0
Other non-cash transactions	16.5	5.8	1.9
Share of profit in associates net of dividends received	1.3	-0.6	-1.0
Gross cash flow	6,640.4	5,724.1	5,802.3
Changes in working capital	88.0	729.2	460.5
Net cash provided by operating activities (A)	6,728.4	6,453.3	6,262.8
Cash flows from investing activities			
Purchases of property, plant and equipment and intangible assets	-1,075.2	-972.4	-1,231.0
Disposals of property, plant and equipment and intangible assets	14.5	26.6	16.6
Changes in other financial assets (including investments in non-consolidated companies)	-117.3	-66.5	-65.9
Effect of changes in the scope of consolidation	-455.7	-1,626.8	-9.3
Net cash from investing activities (B)	-1,633.7	-2,639.1	-1,289.6
Cash flows from financing activities			
Dividends paid	-2,352.1	-2,190.6	-2,221.1
Capital increase of the parent company	5.8	129.7	60.0
Disposal (acquisition) of Treasury shares	-10,060.9	—	-747.3
Purchase of non-controlling interests	—	—	—
Issuance (repayment) of short-term loans	3,939.4	-74.8	-354.9
Issuance of long-term borrowings	—	—	—
Repayment of long-term borrowings	—	-3.6	-0.6
Repayment of lease debt	-396.4	-451.8	-425.8
Net cash from financing activities (C)	-8,864.2	-2,591.1	-3,689.6
Net effect of changes in exchange rates and fair value (D)	77.4	-103.2	10.5
Change in cash and cash equivalents (A+B+C+D)	-3,692.1	1,119.9	1,294.0
Cash and cash equivalents at beginning of the year (E)	6,405.9	5,286.0	3,992.0
CASH AND CASH EQUIVALENTS AT THE END OF THE PERIOD (A+B+C+D+E)	2,713.8	6,405.9	5,286.0